

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立岡崎小学校

作成日

令和 4年 3月 8日

1 教育目標

強いからだと豊かな心を養い、自ら課題を求め、よりよく生きようとする子どもの育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○県学習到達度調査において、特に「書く」領域での県平均値以上を目指す。 ○保護者アンケート「子供にわかりやすい授業の工夫をしている」で、95%以上を目指す。	○保護者アンケート「いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる」で、保護者85%以上を目指す。 ○縦割りでの活動を、より増やしていく。	○毎日朝ごはんを食べてくる児童95%以上を目指す。 ○大休憩ランニングなど、体力の向上を図る取組を増やしていく。 ○設定を変えて、学期に一度は防災・避難訓練を行う。	○保護者アンケート「教育活動や子どもの様子を分かりやすく知らせている」で、90%以上をめざす。 ○ゲストティーチャー等、多くの方々に学校に来ていただき、地域に開かれた学校をめざす。
重点目標に対する	○学力向上のベースとなる基本的な生活習慣の定着に引き続き取り組んでいただきたい。 ○様々な学習の中で、ペアワーク、グループワークを積極的に取り入れた子供を主体とした授業を行っている。	○道徳教育を中心に、思いやりのある児童の育成に取り組んでいただきたい。 ○コロナ禍において、誹謗中傷等に配慮するとともに、これまで以上に人権意識を高める取り組みをお願いしたい。	○基本的な生活習慣を身に着ける意味で、引き続き、生活リズム調べをお願いしたい。 ○昨今全国的に自然災害が発生しているため、身を守る安全教育に、引き続き取り組んでいただきたい。	○コロナ禍であるがゆえに、家庭・地域との連携を深めるために、積極的に情報を発信していくことは大切だと考える。 ○地域の人材や資源の活用を引き続き、重点的に取り組んでいただきたい。
取組状況に対する	○教科担任制を見据えた、高学年の一部教科担任の授業は先進的で、児童たちにより影響を与えていると感じられる。来年度も市内を牽引する学校として取り組みを進めてもらいたい。 ○学校図書館司書を活用して、更なる環境の整備、図書の実用等を図り、子供達が落ち着いて活動できる図書室を目指してもらいたい。	○道徳科を中心に、指導方法の工夫を今後も継続してほしい。 ○コロナ禍で厳しい状況ではあるが、縦割り活動による異学年との交流を推進し、仲間づくりを進めてほしい。	○体力向上については、大勢が集う活動は難しいと思われるが、楽しみながら体力を向上していける活動の工夫をお願いしたい。	○積極的に情報公開や連携を進めようとしている。 ○コロナの感染状況を見ながら、開かれた学校づくりに取り組んでもらいたい。
取組の適切さの検証結果	○「書く」領域で成果が出ていることは嬉しい。引き続き、内容が深い「書く」取り組みを進めてほしい。 ○大規模校であるにもかかわらず、全国学調での結果が、平均以上であるのは、授業改善や教科担任制の導入がプラスに働いているのではないかと感じる。	○道徳の研究は進められていると思います。 ○いじめについて、保護者への啓発や校内の取り組みを積極的に発信することも必要かもしれません。	○体力については、二極化が顕著だと思う。全体のレベルアップをお願いしたい。 ○校舎増築工事が終了し、校内が落ち着いた際には、自分で自分の身を守るための避難訓練等の取り組みをお願いしたい。	○コロナ禍で従前の教育活動ができなくなったが、近い将来を見据えた教育に取り組んでいる。 ○図書ボランティア等、図書館教育の充実に向けて具体的なものがあれば教えてほしい。
改善年度に向けた意見	○「書く」場面の充実を今後も研究を進めて欲しい。 ○若手の授業力向上に向けて、引き続き対策を講じてもらいたい。 ○読書タイムは、読書好きの子供の育成につながっていくので、継続してもらいたい。	○道徳の授業を来年こそは通常どおりの公開できる場面があるといいですが。 ○保護者向けの情報モラルもお願いできればと思う。 ○児童が主体的に取り組んでいけるよう、引き続き、授業力向上に努めてほしい。	○全体の体力アップをするために、教育委員会と連携した取り組みをお願いしたい。	○地域における学校間連携も進められるといい。 ○家庭や地域との連携を深める意味で、情報発信を工夫してもらいたい。

3 その他のご意見

○コロナウィルス感染防止対策として、換気、マスクの着用等普段の取り組みはもちろん、授業時数の確保、授業の工夫、行事の精選、規模の縮小など、授業計画、行事計画においてもきめ細やかで適切な対応が行えている。

○児童数増加に伴い、新教室を含めた学習環境の整備が進められている。今後も教育委員会と連携をさらに密にして、課題を克服してもらいたい。

○HPに児童数、教員数、行事予定等の更新されていない部分が散見されるのは残念である。負担であれば内容の精選を検討したり、運用の仕方(担当を決めるとか)を工夫してはどうか。